

授業科目	* 保育内容総論 (AB クラス)				単位	1		
履 修	必修	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH31402J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	村上 里絵							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>「保育内容とは」、「保育とは」という命題を基本に据え、幼児の生活や発達の姿から、保育内容を総合的に捉える考え方を解説する。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に示される保育内容について、事例研究や演習を通じた学びを基に、保育内容を総合的に展開するための考え方や実践力の基盤を培う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児期の子どもの生活や発達の特性を知り、保育内容が総合的に計画、展開される必要を理解する。 2. 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に示される内容を理解し、五領域の考え方や、保育内容の捉え方を身につけることができる。 3. 幼児の年齢や時期に適した保育内容の計画、特に環境の構成、援助について理解することができる。 4. 子育て支援について理解し、説明することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	80	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	0		30				30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	0		40			10	50	
技能・表現 (DP5-3)	0		10			10	20	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1.子どもの発達特性や生活の様子に大きな関心を持ち、身のまわりの子どもや保育を取り巻く状況について、書物・新聞・テレビなどからの情報にも幅広く興味を持つ。そのために講義や演習で得た知識が現実的になり、学びが深まっている。 2.子どもが好きという気持ちから出発し、保育内容や保育方法の理解を深め、環境構成や教材準備を意欲的に行うことができる知識や技能が備わっている。 				<ol style="list-style-type: none"> 1.子どもの生活や発達の特性を知り、保育内容が総合的に計画、展開される必要を理解する。 2. 子どもに即した保育内容に関する知識や技能を広げ、保育構想の向上に取り組むことができる。 3.テキスト等の事例研究を通して、保育内容や保育方法がどのように子どもたちの発達を支えているか、保育が営まれているかの理解を深めようと努力している。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:授業ガイダンス 1.シラバス説明 2.評価について 3. 幼稚園・保育所・認定こども園に関わる制度 4. 実際の子どもの姿から学んでみよう	講義	復習—テキスト第1章を読む	20
2	1.「幼稚園教育要領」等における保育内容の捉え方、考え方 2. 子ども側から保育内容を考えよう	講義	復習—テキスト第2章を読む	20
3	子ども理解と評価の考え方	講義	復習—テキスト第3章を読む	20
4	指導計画の作成の理解	講義	復習—テキスト第4章を読む	20
5	遊びや生活を通して学ぶということ	講義	復習—テキスト第5章を読む	20
6	養護と教育が一体的に展開する保育	講義	復習—テキスト第6章を読む	20
7	子どもの主体性を尊重する保育	講義	復習—テキスト第7章を読む	20
8	環境を通して行う保育、これまでのまとめ	講義	復習—テキスト第8章を読む	20
9	個と集団の育ちを支える保育	講義	復習—テキスト第9章を読む	20
10	家庭や地域との連携をふまえた保育	講義	復習—テキスト第10章を読む	20
11	小学校への接続をふまえた保育	講義	復習—テキスト第11章を読む	30
12	保育の多様な展開	講義	復習—テキスト第12章を読む	30
13	保育内容の歴史的変遷と社会的背景	講義	復習—テキスト第13章を読む	30
14	まとめ	講義	1回目～14回目のノートをまとめる。	30
15				10
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	1.他教科での学びを、保育内容総論の中で活かすため、学習した内容や資料をきちんと整理しまとめておく。 2.社会の変化と保育の役割に関して、参考図書・新聞・テレビなどの情報も把握して関心を深める。			
テキスト	大豆生田啓友・渡邊英則「保育内容総論」ミネルヴァ書房 2020年			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 阿部知子・前原寛・久富陽子「新保育内容総論」萌文書林 2010年 鯨岡峻「保育・主体として育てる営み」ミネルヴァ書房 2011年 高島景子・砂上史子・森上史朗(編)「子ども理解と・援助」ミネルヴァ書房 2011年 大日向雅美『「子育て支援が親をダメにする」なんて言わせない』岩波書店 2005年			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	幼児期の生活や遊びの楽しさを思い出し、味わいながら、基本的な保育の構造やあり方を学びましょう。そして、保育の構造を理解し、保育現場における乳幼児期にふさわしい生活や活動が展開できてから保育現場に出られるよう、しっかり基礎を固めましょう。			
達成度評価に関するコメント	8回目及び14回目に小テスト(80%)、授業貢献度(20%) 小テストは2回ともテキスト持ち込みで実施します。授業で保育に関する概念及びそれらの関係性について理解していれば出来る基本的な問題です。			

